

市長 道路、環境保全に配慮し、残土処理については、パークゴルフ場建設の整備計画を含めて検討しております。

○妊婦無料健診の拡充について
○多文化共生について
○定額給付金について



あべ かよこ
阿部加代子
議員

質問 妊婦無料健診の拡充について伺います。妊婦健診は保険適用外のため回数を減らしたり、飛び込み出産も問題になっております。健診を受けやすくする環境づくりが大切と考えますが伺います。

市長 来年度より厚生労働省が妊娠から出産まで受けることが望ましいとされている14回と、子宮けいがん検査を加え公費負担とします。

質問 多文化共生への取り組みについて伺います。1月末現在、奥州市には23カ国、536人の外国の方々が生活されています。奥州市国際交流協会が中心となって策定したマスタープランを、関係機関に働きかけ推進していくことが重要と考えますが伺います。

奥州市外国人登録者数（自治区別）

	1998（平成10）年			2008（平成20）年		
	外国人数	人口	構成比	外国人数	人口	構成比
水沢区	162	60,362	0.27%	204	59,228	0.34%
江刺区	57	34,796	0.16%	186	32,336	0.58%
前沢区	35	15,527	0.23%	70	14,820	0.47%
胆沢区	22	18,133	0.12%	50	17,254	0.29%
衣川区	10	5,592	0.18%	31	4,943	0.63%
計	286	134,410	0.21%	541	128,581	0.42%

市長 外国人市民への支援として今まで行ってきた外国人ママふれあいサークルを今後も実施し、日本語ボランティア育成を行い、各区で日本語教室を開催し、コミュニティ支援を拡充してまいります。関係団体と連携し、国籍や民族が異なっても住み良い奥州市を目指してまいります。

質問 定額給付金の対応について伺います。

市長 2月16日に実施本部を立ち上げ副市長を本部長に全庁上げて取り組みます。15人の臨時職員を配置し対応に当たります。3月23

日から申請書を送付し、4月中旬に口座振替の予定となっております。地域経済振興のため商工団体と協議し、当市が1割のプレミアム分を持ち、商品券の発行を検討しております。

○働く女性の環境支援について
○合併して3年、これからの財政運営について



せき しょうこ
関 笙子
議員

質問 何の心配もなく子供を生み育てられる環境の整備について、奥州市の現状とその対策を伺います。

市長 出産の状況については現在、市内5か所の産科で対応して頂いている状況ですが、引き続き出産の環境充実に努力してまいります。また保育園・保育所の待機児童は1月1日現在27名ですが、解消に努めてまいります。企業における育児休業制度の整備状況は365社に対するアンケートによりまずと、回答頂いた117社のうち57社が制度あり、60社が制度無しと答えております。

質問 育児休業の無い企業が50%以上ある事は大変驚きであります。

また回答の無い248社の状況が気になるところです。育児休業制度の充実は急務だと思いますので、今後の市の対応と対策について伺います。

市長 企業の子育て支援はまだまだこれからという気がします。今後、企業には育児休業制度の導入等、さらに子育てに協力頂くよう積極的に働きかけてまいります。

質問 自然災害や、米国発の世界同時不況が市の財政に与える影響を心配しております。財政の安定化について、現状と将来予測をお伺いします。

市長 18年度、19年度は計画に対し大きなブレは見られません。しかし税収や雇用の問題含めて、同時不況の影響はこれから出てくると思われま。

質問 たとえどんな状況になっても安定した財源をもって次世代に引き継ぐのが私たちの役割と心得ます。合併効果をしっかりと出し、負の遺産を先送りすることなく基盤のしっかりした財政の確立をお願いしたいですが伺います。

市長 今後の財政運営は私自ら陣頭指揮をとり運営していくつもりです。財政基盤を充実させ、コスト意識を持ってしっかりと対応してまいります。